# ぜんせき
THE ZENSEKI

第7536号　月・水・金発行（祝日除く）　組合員 月1,728円　組合員外 月1,944円（消費税込）

4月15日（金曜日）2016年（平成28年）

発行所
全国石油商業組合連合会
東京都千代田区永田町2-17-14
電話 03-3593-5751
http://www.zensekiren.or.jp
昭和38年7月1日第3種郵便物認可 振替口座00130-4-52707



ぜんせきweb版　登録受付け中！
新規のご登録の手続きは
下記ウェブサイトでできます
http://zensekiweb.com


## 論説

# 需要減進行と低マージン体質

資源エネルギー庁はこのほど、石油備蓄目標策定のベースとなる2016年度から20年度までの今後5年間の石油製品需要見通しをまとめたが、石油業界はガソリンなどを中心に需要減が顕在化する国内市場に対し、燃料油販売主体のビジネスモデルを180度転換しなければならない事態に直面する。

ガソリンは年平均2・5%の減少率で20年度には4685万キロリットルとなり、5年間で11・8%減少し、625万キロリットルもの需要が消失する。国内のガソリン市場は、20年度には04年度（6148万キロリットル）のピーク時から4分の3に縮むことになる。昨年4月に策定した試算（15～19年度見通し）の年率1・8%という減少トレンドが膨らみ、需要減がさらに進行する厳しい見通しを示した。

一方、灯油は燃料転換に加え、人口減少などの社会構造的な要因も絡み、年平均で3・7%減で、20年度には15年度比17%減の1334万キロリットルと5年間で274万キロリットルの需要が消失する。軽油は堅調な経済成長とトラックなどの保有台数の増加により、年平均0・1%減で、20年度には15年度比0・6%減の3326万キロリットルと微減にとどまる。灯・軽油を含むSS関連3油種計では年率1・9%減で、20年度には9345万キロリットルまで減少し、5年間の需要消失は9%減、921万キロリットルに上る。

中小SSの撤退による残存者利益で販売量を伸ばし、低マージンでの安値量販のビジネスモデルを謳歌してきた異業種SSや一部のPBSSの販売手法もいずれ限界を迎えることとなる。

こうした現状を踏まえると、地域の石油製品安定供給を行ってきたSSは、緊急時・災害時のエネルギー供給の"最後の砦"として重大な責務を引き続き担っていくために、SSの経営力強化に向けた"稼ぐ力"を再構築していかなければならない。過当競争の陰に隠れがちだが、洗車に特化し顧客満足を高めているSS、ワンストップでトータルカーケアを提供するSS、販売業者の協業化・共同配送・タンクの共同利用といった効率化の推進など、様々な取り組みも始まっている。

今後、内需が縮小していく中で、元売各社に求められるのは、『1リットルでも多く、1円でも安くガソリンを売る』販売政策ではなく、低マージン体質から脱却するための販売政策と、地域でのSSの顧客価値を高めていくための系列支援策であろう。

## 東京

# 中川議員にVOC問題陳情
# SSへの配慮求める

揮発性有機化合物（VOC）問題で、SS側へのガソリンベーパー低減対策の規制強化に対して危機感が高まる中、東京都油政連（谷口寿亜会長）と東京石商（矢島幹也理事長）は、全国各地の石油組合のトップを切って陳情活動を開始した。12日、同組合を訪問した中川雅治参議院議員（東京選挙区）に対し、SS側への配慮を強く求めた。

都油政連の谷口会長、大家章嘉、高橋正光両副会長、同石商の矢島理事長、大谷匡広副理事長が出席。計量機でベーパー回収する方式（ステージⅡ）はSSにとって負担が重いことなどを訴えた。矢島理事長は「仮にSSに規制がかかれば、構造上、変更が困難なノンスペース（懸垂式）だと営業できず即廃業に追い込まれる」、谷口会長は「〝第2の地下タンク問題〟にならないようにお願いしたい。改正消防法令への対応を機に廃業するSSが急増したときと同じになる」などと強い懸念を示した。

これに対して中川議員は「環境省は中立の立場である」とする一方、「規制はSS経営に与える影響が大きく、特に都市部で廃業せざるを得ない状況になる。いまでも少なくて困っており、災害時を含めて、これ以上減らすべきではない。自民党は、もちろんSSの味方であり中小企業の味方だ。私はSSの立場で、SSを守るということで頑張る」と支援を確約した。

中川議員（写真中央）に陳情する都油政連と都石商の執行部

## プラッツ社が日本市場参入

# 海上価格25日から公表

石油業界では透明かつ公平な卸価格指標の構築が重要課題となる中、米国系の大手価格指標会社プラッツは12日、東京商品取引所でワークショップを開催し、日本市場に参入すると発表した。今月25日から『日本版プラッツウィンドウ』を立ち上げ、東京湾、中京、阪神の3地区を対象にガソリン、灯油、軽油、LSA重油、A重油について海上価格のアセスメント（評価）を開始し、日々、価格水準を公表する。2016年内には陸上価格のアセスメントも始める計画だ。国内スポット市場はリム情報開発（本社・中央区）の提供する卸指標の影響力が大きいが、プラッツ参入で新たな競合相手が登場することになる。

プラッツが提供する海上価格アセスメントは、同社のメソドロジー（方法論）に基づき実施しているシンガポールでの方法を土台にしたもの。午後3時から3時30分まで開く日本版ウィンドウの終値が反映され、海上のスポット価格が決まる。対象となるのは公表日から7～20日後に受渡しされる1千～2千キロリットルの取引。単位はキロリットル・円で、市場情報はホームページにログインすれば当面、無料提供される。

日本市場参入について同社は、「約1年調査して参入を決めた。

プラッツセミナーへの関心は高く、多くの関係者が集った

## 4月2週

# G出荷大不振で在庫増

石連週報によるガソリン出荷量は、4月第2週（3～9日）が前週比20・9%減、前年比7・9%減の83・2万キロリットルで大不振となった。2週ぶりに前年実績を割り、100万キロリットル台も割り込み低迷した。過去5年平均比も5・8%減。仕切り値上げに伴い仮需が発生した前週の反動が生じたとみられる。

生産量は前週比15・1%減の99・5万キロリットルで大幅低下し、11週ぶりの100万キロリットル割れ。ただ、在庫は出荷減が響き前週比4・2%増の175・3万キロリットルに積み増しされ、前年比も2・3%増と2週連続で余剰が続いている。

軽油出荷量も前週比23・6%減、前年比7・1%減の51・8万キロリットルで不振。在庫は前週比6%増の140・2万キロリットルに増加したが、前年比5・9%減を保った。また、灯油出荷量は3・1%減、13・6%減の23・6万キロリットルで前年割れ。在庫も前週比2・5増の117・3万キロリットルに増えたが、前年比では7・6%減の低水準（2面にDATA）。

## JX出光

# 卸全油種据置く

JXエネルギーは14日からの先行指標価格を通知した。特約店筋によると、前週比でガソリン、灯油、軽油、A重油ともに据え置き。据え置きは2週連続。

◇　◇

出光興産は14日からのSS向け週決め仕切り方針を通知した。複数エリアの系列販売店筋によると、前週比でガソリン、灯油、軽油、A重油ともに据え置いた。2週連続据え置き。

## レギュラー小売5週続騰116円強

エネ庁週市況

資源エネルギー庁による小売価格調査（4月11日・消費税込み）レギュラー全国平均は前週比1・7円高の116・3円と5週連続で値上がりした。累計では4・3円の上昇となる。4・0円高の滋賀、3・4円高の神奈川、3・2円高の青森と茨城など、2週連続で全47都道府県が上昇した。

ハイオクは1・7円高の127・2円。軽油は0・9円高の99・2円。灯油は8リットル店頭、配達ともに6円値上がりの1112円、1268円（2面に県別DATAと「今週の市況地域概況」）。

### 今週のガソリン小売市況概況　（4月3週）

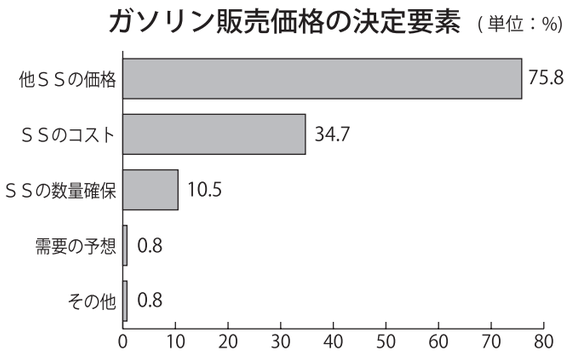
| | 全体概況 | ベンチマーク 前週 | ベンチマーク 当週 | 備考 ※斜字はフル |
|---|---|---|---|---|
| 北海道 | ⇑ | ￥114 | ￥114 | *札幌市・地場・系列* |
| 北東北 | ⇑ | ￥114 | ￥114 | 秋田市・広域・系列 |
| 南東北 | ⇑ | ￥117 | ￥117 | *仙台市・広域・系列* |
| 信越 | ⇑ | ￥108 | ￥110 | 新潟市・地場・系列 |
| 北関東 | ⇑ | ￥105 | ￥105 | 宇都宮市・異業種・PB |
| 首都圏 | ⇑ | ￥103 | ￥103 | 千葉市・異業種・PB |
| 山静 | ⇑ | ￥120 | ￥120 | *静岡市・広域・系列* |
| 東海 | ⇑ | ￥107 | ￥109 | 鈴鹿市・広域・系列 |
| 北陸 | ⇑ | ￥110 | ￥113 | 福井市・地場・系列 |
| 京阪 | ⇑ | ￥110 | ￥114 | 茨木市・子会社・系列 |
| 阪神 | ⇑ | ￥110 | ￥113 | 神戸市・地場・系列 |
| 山陽 | ⇑ | ￥116 | ￥114 | 岡山市・地場・系列 |
| 山陰 | ⇑ | ￥116 | ￥116 | *米子市・地場・系列* |
| 四国 | ⇑ | ￥113 | ￥113 | *高松市・地場・系列* |
| 九州北 | ⇑ | ￥117 | ￥115 | *福岡市・地場・系列* |
| 九州中 | ⇑ | ￥112 | ￥112 | 熊本市・広域・PB |
| 九州南 | ⇑ | ￥112 | ￥112 | 宮崎市・地場・PB |

⇑0.5円超上昇、⇗小幅上昇、⇒横ばい、⇘小幅下落、⇓0.5円超下落

## エネ庁

# 熊本の石油流通実態把握
# 不透明仕切り浮き彫り

資源エネルギー庁石油流通課はこのほど、熊本市を対象に行った『石油流通実態把握調査結果』をまとめた。ガソリン販売価格の決定要素については「他ＳＳの価格」が最多で75.8%を占め、「ＳＳのコスト」が34.7%、「ＳＳの数量確保」が10.5%と続いた。販売不振などから各地で過当競争が激化しており、自社のコストに基づく値付けは３割強にとどまり、周辺ＳＳの売価を重視する傾向が著しく高いことが浮き彫りとなった。系列ＳＳの業転玉の購入が22.5%に上る一方、事後調整を「受けている」ＳＳが31.4%、「受けていない」ＳＳが68.6%を占めるなど、不透明な仕切価格体系もコスト意識を反映しない価格競争に拍車をかける要因とみられる。




調査は、特約店・販売店などによる流通証明書の取り組み状況の把握のほか、同市におけるSSの経営状況やガソリンなどの石油製品需給、卸価格の形成など、競争環境要因について実態把握を行った。長野県諏訪地区を対象に2015年3月に実施した石油流通実態調査の第2弾（公表は15年7月）。熊本市内に立地する元売系列特約店・販売店、PBSS（JAを含む）の計178SSを対象に15年10月にアンケート調査を実施。132SS（回答率74・2%）から回答を得た。

調査時点の経営状況は「良い」が11%にとどまり、「悪い」が46・5%を占めた。「良い」としたSSは、「油外収益の増加」を挙げた一方、「悪い」としたSSは、「価格競争によるマージン低下」や「販売数量の減少」などを挙げ、SSの収益悪化を油外収益でカバーしている実態が明らかとなった。

市内SS間の競争構造としては「近隣に立地している」や「同じ通り沿いにある」が多く、PBSSによる安売りを競合理由に挙げるSSは少なかった。

15年10月に購入したレギュラー1リットルあたりのマージンは平均が9・5円。「6～8円」が30%と最も多く、次いで「8～10円」が23%、「15～20円」が14%、「3～6円」が13%の順で、同市内のマージンは同月の全国平均11・8円を下回る厳しい環境にあった。

ガソリン1リットルあたりの事後調整額は平均3円で、「3～4円」が最も多く35・7%を占め、「2～3円」が21・4%、「1円以下」、「1～2円」、「4円超」が各14・3%と、事後調整額の価格差も浮き彫りとなった。事後調整の時期については「月末」が66・7%と全体の3分の2を占めた。

系列SSの業転玉の購入割合は22・5%で、特約店が13・7%だったのに対し、販売店は44・8%に上った。仕入れに占める業転玉の割合については、「20%以下」が47・4%と最も多く、次いで「40～60%」が26・3%、「20～40%」「60～80%」が各10・5%、「80%超」が5・3%。

業転玉購入に対する元売などの反応は、「系列玉の購入を指導された」が52・2%、「なにも言われていない」が34・8%、「品確法の軽減申請にサインしないと言われた」が4・3%。「サインポールを撤去すると言われた（警告書が届いた）」との回答はなかった。

系列玉と業転玉との仕入価格の許容格差は平均1・8円となった。許容価格差の分布では、「1・5円以下」が44・4%で最も多く、「3・5円以下」が27・8%、「2・5円以下」が22・2%と続いた。

業転玉を購入しているSSと購入していないSSのガソリン仕入価格を比較したところ、購入SSは3円、小売価格は2・6円それぞれ安いが、マージンはともに9・5円だった。

石油製品流通証明書の認知度に関しては、内容も含めて認識しているSSは38・9%。その活用方法としては「活用した取り組みを行う必要はない」が42・2%を占め、次いで「交付・保存を義務付ける」が29・4%、「提示を義務付ける」が18・6%の順となった。

事後調整など日本には独特の商習慣があるが、変化してきている。世界各国で価格指標の透明化を進めてきた経験、知識を生かし現状の市場に向き合いたい。初めの参加者が1～2社でも良い。次第に透明性のもたらす利益への理解が業界全体に広がる」などの考え方を示した。

また、来賓として参加した資源エネルギー庁の佐合達矢石油流通課長は、「事業者の方々が適切な経営をするうえで、透明で信頼性の高い価格指標は極めて重要。プラッツ社が日本市場に関心をもってくれることは2つの理由から喜ばしい。1つは同社がすでに世界各国で価格指標を提供し、消費者に信頼されるメソドロジーを確立していること。もう1つは価格情報の提供という分野において複数の会社が競うことで、より洗練、信頼される価格指標が形成されると認識している。また行政として、事後調整など日本独特の商慣習も改善すべき点は直していきたい」と述べた。

## ポンプあいら・ぐど

▼「レジェンド」という言葉をよく耳にする。直訳すれば「伝説」だが、最近は特定分野や業界で輝かしい功績のあった人や、長年の努力が認められた人を「レジェンド」と評する。唐突だが、個人的に石油業界のレジェンドと思える人が先日、亡くなられた。60歳代半ばの早過ぎる他界であった▼関西石油卸、といえば聞こえはよいが端的には業転市場の第一線で活躍し、その後東京にも行かれたある商社マン。この人がなぜレジェンドなのか。商売で大儲けをしたからでも、会社を急成長させたからでもない。ただ一点、その人を知るだれもの人物評が「面倒見のよい」ということで共通しているからだ▼どの人に聞いても「あの人は面倒見がよい」といい、悪評や悪口は聞いたことがない。会合でレジェンドが現れると自然と人の輪ができる。背筋を伸ばし、挨拶を交わす姿は遠目にみても「威風堂々」としていた▼面倒見の意味を例示すれば、商売敵の商社マンが会社を辞めれば、その再就職の世話をする。それも別の商売敵へ就職させる。その人が活躍できる場を業界で提供できる。そうしたネットワークを長年、業界内で作り上げてきたことがレジェンドと呼びたい理由だ。懐の深い関係は最近は希薄になり、優秀な人材も離れがち。だからこそいま、必要な人材と思える。

## きょうの紙面


2面　佐賀・オカモトが九州初進出
■DATAコーナー＝原油価格、石油製品先物情報、石連週報、週動向調査
3面　北海道版・ホクレン系セルフ減少/九州版・総㈹会シーズン迫る
4面　中国版・広島青年部・西岡新体制に／都道府県別販売実績

# オカモトグループ九州初進出

## 唐津に97・8円で開所

佐賀

【唐津＝佐賀】北海道から全国展開しているオカモトグループのヤマウチ（本社・香川県高松市、岡本将社長）が佐賀県唐津市に「セルフ唐津バイパス」をオープンした。九州・沖縄県では初めての出店で、近隣のSSをかなり下回る低価格で販売。今後も九州各県に進出する意向を示しており、大分県に開店するという情報もある。

出店したのは唐津市の唐津バイパス沿いで、大型商業施設・イオン唐津の近く。1日に開店し、24時間営業。オープン特価ではレギュラー97・8円、軽油77・8円、灯油41・8円（ポイントプリカ）を打ち出した。

佐賀県唐津市にオープンした「ヤマウチセルフ」

オカモトグループは、北海道帯広市に本社を置き、「生活応援企業」として、石油製品から映画・音楽・書籍、インターネットカフェなど幅広い事業を展開している。ヤマウチはグループ企業の1つ。

同社は「お客様に喜んでいただくために1円でも安く提供するとともに、厳しい品質管理で安心・安全な製品をお届けし、地域の皆様のお役に立ちたい」としている。また、「これからも条件に適した物件があれば出店したい」という意向も示しており、九州各県での開設を検討しているとした。

大分県のSS関係者によると、近日中に県内でSS開設の動きも進んでいるという。ヤマウチ側は「現在交渉中なので明らかにできない」としている。

九州では、同じ北海道に本社を置くアサヒ商会が〝低価格路線〟で福岡、佐賀、長崎、熊本、宮崎、鹿児島県に計8店を開設している。アサヒ商会に続くオカモトグループ進出が九州市場にどう影響するかが注目される。

# 原油動向に不安感

## 消費者意識への影響懸念

関東

原油価格動向が不安定だ。反転の兆しもみえるが、SS店頭では原油安・小売安となっても需要回復には至っておらず、今後の原油価格動向を不安視する声も聞かれる。

ドル100ドル台で推移していた原油価格は、2014年夏以降に下落の一途をたどり、今年に入って20ドル台まで落ち込んだ時期もあったが最近は40ドル台前後で変動を繰り返しており、OPEC・非OPEC諸国の思惑次第では再び下落に転じる可能性も出てきている。こうした不透明な原油価格情勢に対して、埼玉県内の特約店社長は「需要と供給の実態から離れている印象を受ける。どこかの国の統計や影響力の強い人の発言などで価格が急に乱高下するのは違和感を感じる」と述べる。

原油価格下落の恩恵を受けている業者は少なく、千葉県内の販売店社長は「価格は下がったが、販売はあまり伸びておらず、店頭は依然として限定給油が続いている。消費者の財布の紐は固く縛られたままだ」と指摘し、都内の特約店幹部も「大口需要家は依然として値引きを要求してくる」と訴える。その一方、茨城県内の特約店幹部は「短期間に目まぐるしく変わる市況に消費者は不安を感じるのではないか。SS店頭で原油価格を操作することはできないから、もし上がれば消費者からのクレームにひたすら耐えて、売っていくしかないだろう」と、原油価格の安定化を強く望んでいる。

# 長崎で自動運転実験

## 関連産業の誘致目指す

【南島原＝長崎】長崎県南島原市で先ごろ、同市と長崎大、長崎県による「自動運転」の実証実験が九州で初めて行われた。自動運転に対する関心が世界的に高まる中で、地方にも開発・実用化の拠点を構築し、関連産業の誘致・集積を目指す。

自動運転のシステムを開発しているのは長崎大学の濱田剛准教授（情報工学）らで、県、同市が協力。車両（プリウス）を使用して実験した。

車には衛星利用測位システム（GPS）や光で周囲の状況を感知するライダー（高性能探知機）を搭載し、パソコン上の「3次元地図情報」を使用。濱田准教授がハンドルに手を全く触れないまま車が静かに動き出し、あらかじめ地図情報上に入力していたコース通り、約1・2キロメートルを無事走行した。県と南島原市は濱田准教授に全面的に協力し、自動運転システムの高度化、安全性の確保などを目標に様々なプロジェクトを展開することにしている。「自動運転車は未来のクルマ社会に向かう夢にあふれたプロジェクト。高齢化が進む中での安全な交通環境づくり、関連産業の育成、雇用機会の拡大にもつながる」としている。

長崎県で始まった自動運転の実験

### ベトナム事業推進へ専任組織を設置

JXエネ

JXエネルギーは1日付で「ベトナム事業準備室」を設置した。ベトナム最大手の石油製品販売会社である通称ペトロリメックスへの出資・協業に関する検討を進めるための専任組織。これに伴い、東南アジア事業開発部を「東南アジア事業部」に改めた。

### 電力販売統括部とCSRGを設置

東燃ゼネ

東燃ゼネラル石油は1日付で組織変更を実施した。電力事業部を電力事業本部にしたうえで、同本部の下に電力販売統括部を設置した。

さらに広報渉外統括部CSR推進部を広報CSR統括部CSR・コミュニケーション推進部に変更し、CSRグループを新設した。

# 今週のガソリン市況

4月第3週

## 一部軟化も市場に一服感

般はセルフ108～113円、フル116円表示が大勢となった。函館はアサヒが105・8円、モダなどが107・8円表示に軟化し、一般はセルフ112～3円、フル116円前後でほぼ横ばいで推移している。

◎東北…上昇。仙台は112～4円。福島市はセルフ120円台前半、郡山は115～7円に上昇。青森市はセルフ115～120円、山形市は115～121円に値上がり。

◎信越…新潟は横ばい傾向で新潟市内はセルフ106～9円、上越市内は106～9円となっている。

◎北関東…群馬は横ばいで、前橋でフル114～6円、セルフ109～111円。栃木は宇都宮でフルが3円程度上がり110～4円、セルフも若干上昇し107～8円、足利市や佐野市も若干上昇しセルフ109円前後。茨城は水戸市内が値下がりし107～110円、つくば市は横ばいで106～8円。

◎首都圏…埼玉は全県的にやや軟化傾向もうかがえ、県央部は110円前後、西部は110円前後、東部は109円前後となった。千葉は値上がり傾向で、千葉市内や成田市内は107～9円、松戸市内は107～113円で、各地の100円割れは姿を消しつつある。

◎山静…静岡は全県的に横ばいで、静岡市内でセルフ115～7円、フル120円前後、西部は112～4円、東部は112～5円。山梨は値上がり傾向で、セルフ109～112円、フル115～9円。

◎東海…愛知は横ばいで、一部は1～3円上昇。量販セルフも107～9円、尾張～西三河地域は115円前後が中心。常滑地区も先週末からPBバロン・パークが2円上げ98円、コストコとイオンSSも99円に上昇。近隣に99円で争う系列店も出現し、知多北部のみ2桁の激戦が続く。三重は最安値のPBクイックピット伊勢が5円高の103円、一般は106～116円。岐阜は羽島・大垣で104～7円、岐阜市や多治見など110～117円で安定している。

◎北陸…3県とも1～3円程度上昇したセルフが目立ち、現金110～117円が大半を占めてきた。

◎近畿…上昇基調続く。ただ、連休商戦前の拡販も一部SSで始まっている。広域PBでは109円も見られ、阪神、京阪地域ともセルフ平均は112円。業転市場は下げ基調だが、荷動きは鈍い。

◎中国…ばらついている。山口県下関市内は107円中心に浮上。岡山市内などはセルフで2円程度下がり114円が主流となり、笠岡市内などではJAが周辺よりも8円安。広島市内中心部は横ばい。

◎四国…高松市内はフル113円、セルフ111円主流で横ばい、坂出市内は110円前後の表示が目立つ。徳島市内や周辺部はセルフ113円中心に上昇。

◎九州…堅調推移している。採算販売意識が強まり、福岡市中心部は117円前後、周辺地区も108～110円が大勢になっている。佐賀県は大型量販店が収益重視を強めていることから全体的に安定。

# 20年にEV・PHV100万台

## 普及促進へロードマップ

経産省

経済産業省は先ごろEVやプラグインハイブリッド車（PHV）の普及に向けたロードマップを策定し、公表した。政府目標として掲げる「2030年までに新車販売に占める次世代自動車の割合を5～7割とすることを目指す」ため、16年2月末のEV・PHVの累計販売台数14万台から、20年に7倍強となる100万台（保有ベース）まで増やすことを目標として掲げた。また、20年に向けて、大規模商業施設や宿泊施設、観光施設などに充電器2万基（急速・普通、既設分を含む）の設置を目指すとした。

EV・PHVの普及を促すインフラ整備に向け、電欠の懸念を払拭し、安心感を高めるために、道の駅や高速道路のSA・PAなどのわかりやすい場所に計画的に設置していくことや、最適配置を進めるため、都道府県の充電器整備計画の見直しを促す。このほか、共同住宅や職場などへの設置、関係者（国、自動車メーカー、ディベロッパーなど）が幅広く連携する推進母体の立ち上げなどの取り組みを強化すべきとした。

世界の三大ガソリン計量機メーカー
TATSUNO

# DATAコーナー

■石油先物市場・4／13

△値上げ、▲値下げ◇ストップ高、◆ストップ安、単位：￥／ＫＬ

東京商品取引所（京浜海上：１枚＝50ＫＬ）

| 16：30現在 | 前日比 | 限月 | 16：30現在 | 前日比 |
|---|---|---|---|---|
| （前日出来高2,324枚） | | ガソリン | （前日出来高16枚） | |
| 41,600 | △850 | ⑤限月 | 40,000 | △650 |
| 42,170 | △830 | ⑥限月 | 40,750 | △760 |
| 41,980 | △970 | ⑦限月 | 40,900 | △1,000 |
| 41,900 | △1,020 | ⑧限月 | 41,500 | △1,500 |
| 41,210 | △1,050 | ⑨限月 | 40,000 | △1,000 |
| 40,370 | △1,050 | ⑩限月 | 39,900 | △1,400 |
| （前日出来高365枚） | | 灯油 | （前日出来高0枚） | |
| 35,400 | △700 | ⑤限月 | 34,800 | △300 |
| 35,940 | △990 | ⑥限月 | 35,500 | △500 |
| 36,060 | △1,040 | ⑦限月 | 35,000 | 0 |
| 36,560 | △830 | ⑧限月 | 35,500 | 0 |
| 37,290 | △770 | ⑨限月 | 37,000 | △330 |
| 38,360 | △860 | ⑩限月 | 38,000 | △500 |
| （前日出来高0枚） | | 軽油 | | |
| 35,400 | △700 | ⑤限月 | | |
| 35,400 | △700 | ⑥限月 | | |
| 35,400 | △700 | ⑦限月 | | |
| 35,400 | △700 | ⑧限月 | | |
| 35,400 | △700 | ⑨限月 | | |
| 35,400 | △700 | ⑩限月 | | |

中京石油市場（伊勢湾油槽所：１枚＝20ＫＬ）

原油指標

| | | 前日比 |
|---|---|---|
| 国内指標 | ＄／Ｂ | 39.32（△1.29） |
| | ￥／ＫＬ | 27,124（△1,026） |
| ＷＴＩ | ＄／Ｂ | 42.17（△1.81） |
| | ￥／ＫＬ | 29,090（△1,393） |

■ＳＳ店頭市況週動向調査・4／11

（単位：￥／Ｌ、↑値上げ、→同値、↓値下げ）

| レギュラー | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 北海道 | 115.6 | ↑ | 静岡 | 117.5 | ↑ | 鳥取 | 115.9 | ↑ |
| 青森 | 116.7 | ↑ | 山梨 | 115.9 | ↑ | 島根 | 120.6 | ↑ |
| 岩手 | 115.8 | ↑ | 愛知 | 114.8 | ↑ | 山口 | 115.7 | ↑ |
| 宮城 | 115.1 | ↑ | 三重 | 116.3 | ↑ | 徳島 | 111.9 | ↑ |
| 福島 | 116.6 | ↑ | 岐阜 | 118.2 | ↑ | 高知 | 107.3 | ↑ |
| 秋田 | 116.0 | ↑ | 富山 | 118.8 | ↑ | 愛媛 | 116.0 | ↑ |
| 山形 | 118.6 | ↑ | 石川 | 114.0 | ↑ | 香川 | 112.4 | ↑ |
| 新潟 | 114.7 | ↑ | 福井 | 117.8 | ↑ | 福岡 | 116.6 | ↑ |
| 長野 | 119.8 | ↑ | 滋賀 | 115.3 | ↑ | 大分 | 119.1 | ↑ |
| 群馬 | 113.5 | ↑ | 京都 | 117.8 | ↑ | 佐賀 | 118.6 | ↑ |
| 栃木 | 114.2 | ↑ | 大阪 | 112.8 | ↑ | 長崎 | 124.4 | ↑ |
| 茨城 | 113.7 | ↑ | 奈良 | 116.4 | ↑ | 熊本 | 116.2 | ↑ |
| 千葉 | 112.9 | ↑ | 和歌山 | 118.2 | ↑ | 宮崎 | 114.4 | ↑ |
| 埼玉 | 112.4 | ↑ | 兵庫 | 114.2 | ↑ | 鹿児島 | 124.7 | ↑ |
| 東京 | 120.8 | ↑ | 岡山 | 115.6 | ↑ | 沖縄 | 123.1 | ↑ |
| 神奈川 | 115.8 | ↑ | 広島 | 115.3 | ↑ | 全国 | 116.3 | ↑ |

■国内供給統計（石連週報）・4月第2週末　（単位：千ＫＬ、％）

| | 東日本 | 西日本 | 合計 | 前週比 | 前月比 | 前年比 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①原油処理量 | 2,275.0 | 1,460.9 | 3,735.8 | 99.1% | 98.2% | 100.9% |
| ②製油所稼働率 | 84.0 | 94.8 | 88.0 | 0.9 | 0.7 | 3.1 |
| ③石油製品在庫量 | | | | | | |
| ガソリン | 954.0 | 798.6 | 1,752.6 | 104.2% | 104.5% | 102.3% |
| 灯油 | 795.2 | 378.2 | 1,173.4 | 102.5% | 97.3% | 92.4% |
| 軽油 | 743.9 | 658.0 | 1,401.9 | 106.0% | 93.7% | 94.1% |
| Ａ重油 | 475.3 | 286.2 | 761.5 | 98.9% | 110.7% | 100.1% |
| 6油種計 | 4,551.7 | 3,373.4 | 7,925.2 | 101.8% | 98.6% | 95.6% |
| ④製品出荷量推計 | | | | | | |
| ガソリン | 505.2 | 326.4 | 831.6 | 79.1% | 88.8% | 92.1% |
| 灯油 | 164.4 | 71.4 | 235.8 | 76.9% | 46.5% | 86.4% |
| 軽油 | 329.1 | 189.0 | 518.1 | 76.4% | 84.9% | 92.9% |
| Ａ重油 | 106.5 | 115.0 | 221.5 | 82.1% | 74.2% | 94.8% |
| 6油種計 | 1,352.1 | 889.6 | 2,241.7 | 83.7% | 85.0% | 95.2% |

# 生活、産業、地域を支える 石油の力SSの力

愛媛県宇和島市 ▶vol.192◀

## 地域貢献

## 大学と地域活性化プラン探る

愛媛県南部の宇和島市と松山市の2本社制を採用している三原産業（三原英人社長・JX系）。同社は、宇和島市で誕生し育ったこともあり「地元に恩返ししたい」と、燃料の安定供給とともに南予地方の農業・漁業を支えるだけでなく、その先の加工業も支える取り組みを展開。昨年10月から実施してきた大学生との連携による「南予地方の新しい明日をつくる」も、地域の活性化を目指したものでいわゆる地域貢献の1つでもある。

同社は給油から車検整備・鈑金塗装、新車・中古車販売、各種保険、レンタカー事業などを手がけながら、カーライフ総合サポート企業としての体制を築いてきた。特に宇和島地域においては、SS業界では数少ない「系列を越えた共同配送事業」にも参画するなど、SS業界の安定化に向けた事業も積極的に行っている。こうしたSS業関連事業とともに力を注いでいるのが、南予地方を中心とした地域サポート事業だ。「三原産業としての力を地域にどうやって還元していくのか」をテーマに、地域活性化に向けた取り組みも積極的に展開している。

この一例が、松山短期大学の学生と同社従業員がタッグを組んで行ってきた「南予地方の新しい明日をつくる」という取り組み。学生2人、従業員1人で構成された6チームが昨年10月から半年かけて南予地方の特産品、観光サービスに関する新規事業の立案を進めてきた。3月にはその発表会が行われたが、三原社長は「6チームはそれぞれが南予地方の活性化を目指した素晴らしい事業プランを考えてくれた」と高く評価。そのうえで「学生と社会人がチームとしての団結力、信頼関係を強めながら、そして地域の様々な産業との連携を深めながら地域活性化の具体的なプランをつくり、発信していく。言い換えれば、世代を超えた・組織を超えた連携がイノベーションを興すことは、全国各地においてこれからの地域創生のために求められている姿であろう」とあいさつした。

地場産業が活性化すれば、自社の燃料販売量の確保にもつながるだけに、従来に増して地域社会に役立つSSづくりに力を注ぎ、地域に一層密着した事業を実践していく。今回の新規事業計画案に関しても、「具体化を進めていきたい」と意欲的に取り組むことを表明しており、今後もSS業を中心としながら地域貢献事業も積極的に展開していく方針だ。

地域貢献を一層積極化していく（写真は新規事業案を発表する松山短大学生）

（次回は、家族経営で地域の生活を支える埼玉県秩父市の山間部SS）

ニュー・マイコンホームローリー
TATSUNO
スピーディーな灯油配送はタツノのローリーで！
50年以上の販売実績＆安心のサポート体制
350型 軽トラックで狭い路地もスイスイ配送
500型 8ナンバーの軽トラックに搭載OK
1000型 8ナンバーで850kg車への架装もOK
1400型 1.5トン車など、ちょっと小さめのトラック用
2000型 一回にたっぷり積んで効率配送
●大きく見やすい電光表示カウンター【全機種】
●電動リールで引出しもラクラク【1000/1400/2000】
●夜間作業も安心の手元照明【1000/1400/2000】（オプション）
●簡単便利なプリセット&リピート【全機種】（オプション）
●機能別の大型スイッチ【全機種】
ホースは横方向でも引き出せます。
●ローリーメイト5（オプション）有線式
ローリーから離れていてもその場で伝票発行
日計や請求データも自動作成
万全のメンテサービス網を完備 全国79カ所の直営ネット
株式会社タツノ　本社／〒108-8520 東京都港区三田三丁目2番6号　http://www.tatsuno.co.jp/　050-9000-0567（営業本部営業部）

# 北海道

北海道支局（札幌市豊平区豊平1条7丁目6-37 北海道石油会館）011（822）8117

## 2015年度末 ホクレン系
# セルフ初の前年割れ
## 全道総数も8ヵ所減の273

本紙の集計によると、全道で営業中のホクレン系セルフは3月31日現在で111ヵ所となり、前年同期と比較すると2ヵ所減少した。初セルフを開業した2002年度以降、年度末の同系セルフの数が前年を下回るのは初めて。ホクレンが推し進めてきたセルフ化政策はほぼストップしたが、同系SSの総数自体も減少を続けており、セルフ率は前年比1ポイント増の41%に上昇している。

**ホクレン系ＳＳの現況**（2016年3月31日現在）

| エリア | ＳＳ数 | うちセルフ数 | セルフ率 |
|---|---|---|---|
| 石狩 | 15 | 10 | 67% |
| 渡島 | 9 | 7 | 78% |
| 檜山 | 6 | 2 | 33% |
| 後志 | 12 | 5 | 42% |
| 空知 | 33 | 15 | 45% |
| 上川 | 45 | 22 | 49% |
| 留萌 | 7 | 2 | 29% |
| 宗谷 | 10 | 4 | 40% |
| オホーツク | 37 | 13 | 35% |
| 胆振 | 11 | 2 | 18% |
| 日高 | 14 | 4 | 29% |
| 十勝 | 50 | 20 | 40% |
| 釧路 | 14 | 4 | 29% |
| 根室 | 10 | 1 | 10% |
| 全道合計 | 273 | 111 | 41% |

ホクレンは02年6月に帯広市内に帯広市農協運営の第1号セルフ（03年8月末に廃止）を新設で開業して以来、それまでセルフ化には慎重だった姿勢を一転させた。06年度までは少ない年は0ヵ所、多い年でも8ヵ所と、ホクレンのセルフ化はそれほど目立ったペースではなかったものの、その後は急に加速した。

07年度からの3ヵ年で、セルフを全道100ヵ所まで増やすという大きな目標を設定。初年度の07年度に30ヵ所、次年度の08年度には37ヵ所と新設・改装でのセルフ化を推進した。

最終年度の09年度は14ヵ所にとどまり、年度内での目標達成はできなかったものの、翌10年度末にちょうど100ヵ所に到達している。これ以降はペースを落としながらもセルフ化を着実に進めてきたホクレンだが、15年度は上川、十勝両エリアで各1ヵ所減少しており、年度末のセルフ数は前年比2ヵ所減の111ヵ所となった。前年を下回るのはセルフ化を開始した02年度以降、初めてになる。

また、ホクレン系SSの総数としては、十勝で4ヵ所、石狩で3ヵ所、上川で1ヵ所と計8ヵ所減少しており、273ヵ所に後退した。これにより、同系SSのセルフ率は前年比で1ポイント増加して41%になった。

なお、エリア別にみると、セルフが最も多いのは上川の22ヵ所で、十勝が20ヵ所で次いでいる。セルフ率が最も高いのは渡島で78%、最も低いのは根室で10%となっている。

### 資源・燃料課長に木下氏任命
道経産局

道経産局は1日付で、資源エネルギー環境部資源・燃料課長に前同部電力事業課長補佐の木下俊一氏を任命した。

### エネファームなど普及促進
水素利用
## リーフレットを作成
道経産局

道経産局が事務局を務める北海道地域定置用燃料電池システム普及促進連絡会は先ごろ、道内での家庭用燃料電池（エネファーム）などの普及促進を目的としたリーフレット「未来を拓く水素エネルギー利用」（写真）を作成した。

定置用燃料電池システムの仕組みや省エネ効果、エネファームに関する補助金制度などを一般向けにわかりやすく紹介している。

このリーフレットは同局のホームページ（http://www.hkd.meti.go.jp/hokne/20160307/leaflet.pdf）からもダウンロードすることができる。

### 北石連・北海道石商
## 25日に総務委、27日に理事会開催
北石連・商

（伊藤農会長・理事長）午後1時30分から、道井喜和委員長）を25日は2016年度通常総（代）会（5月24日開催予定）に向けて、総務組織委員会（荒石油会館で開催する。また、理事会を同27日午後1時から同会館で開催する。

### 道中央会 15年度
## 中小企業労働実態調査結果
### 経営状況再び悪化
前年度から大幅に後退

道中小企業団体中央会がまとめた2015年度の「中小企業労働事情実態調査」の報告書によると、「1年前と比較した経営の状況」では、「良い」が14%強で、過去5ヵ年で最高水準だった前年度から9ポイント減と大幅に後退した。全国平均との比較では、北海道は前年度4ポイント上回った。「現状維持」は74%で5ポイント増加している。

また、「経営上の障害」では、最も多かったのが「人材不足（質の不足）」で48%。次いで「原材料・仕入品の高騰」が37%、「同業他社との競争激化」が36%、「販売不振・受注の減少」が33%、「労働力不足（量の不足）」が32%などとなっている。なお、前年度に続き、「人材不足（質の不足）」、「労働力不足（量の不足）」はともに増加傾向にあり、採用面での問題が深刻化している。

このほか、「賃金改定」については、「引き上げた」が55%、「引き上げる予定」が7%でいずれも前年比で1ポイント増えている。業種別では大きな違いはなかったが、規模別でみると、「引き上げた」は「100～300人」の会社が66%で最も多く、規模が小さくなるに従って減少し、「1～4人」は30%だった。

8700社から回答があった。「1年前と比較した経営の状況」では、「良い」が14%強で、過去5ヵ年で最高水準だった前年度から9ポイント減と大幅に後退した。全国平均との比較では、北海道は前年度4ポイント上回った。「現状維持」は74%で5ポイント増加している。

また、「経営上の障害」では、最も多かったのが「人材不足（質の不足）」で48%。次いで「原材料・仕入品の高騰」が37%、「同業他社との競争激化」が36%、「販売不振・受注の減少」が33%、「労働力不足（量の不足）」が32%などとなった。1位（前年2位）の「人材不足（質の不足）」は前年比で2ポイント増加した半面、2位（同1位）の「原材料・仕入品の高騰」は11ポイント減少している。これ以降はペースを落としながらもセルフ化を着実に進めてきたホクレンだが、15年度は上川、十勝両エリアで各1ヵ所減少しており、年度末のセルフ数は前年比2ヵ所減の111ヵ所となった。前年を下回るのはセルフ化を開始した02年度以降、初めてになる。

また、ホクレン系SSの総数としては、十勝で4ヵ所、石狩で3ヵ所、上川で1ヵ所と計8ヵ所減少しており、273ヵ所に後退した。これにより、同系SSのセルフ率は前年比で1ポイント増加して41%になった。

なお、エリア別にみると、セルフが最も多いのは上川の22ヵ所で、十勝が20ヵ所で次いでいる。セルフ率が最も高いのは渡島で78%、最も低いのは根室で10%となっている。

# 九州

九州支局（福岡市博多区吉塚本町1-15 ふくおか石油会館5階）092（282）0908

## 総（代）会シーズン迫る
### トップ開催は九州支部（5/11）

九州・沖縄の石商・協と全石連九州支部（喜多村利秀支部長）の総（代）会が5月に開催される。SSを取り巻く経営環境が厳しさを増す中で、本年度の活動を振り返りながら新年度の方針、展望を審議する。

低燃費車の急増、少子・高齢化、過疎化の中で多くのSSの経営は悪化し、低価格競争の激化、大型量販店の攻勢が追い討ちをかけている。

一方で、SSでの地道な作業を敬遠する若者が増え、スタッフの確保が難しくなっている。またHVをはじめ車両の電子化が進み、点検整備技術が高度化し対応する人材の育成も大きな課題。

各県石商・協では組合員数が減少しているために組合財政が悪化しており、厳しい予算の中で組合活動をどのように効率化・活性化するかが最大の課題になる。

九州・沖縄の総（代）会日程

| 県 | 日 | 曜日 | 時間 | 会場 |
|---|---|---|---|---|
| 福岡 | 5月18日 | 水 | 13:30 | ふくおか石油会館 |
| 大分 | 23日 | 月 | 12:00 | 大分県石油会館 |
| 佐賀 | 19日 | 木 | 16:00 | ホテルニューオータニ佐賀 |
| 長崎 | 19日 | 木 | 12:00 | サンプリエール |
| 熊本 | 23日 | 月 | 12:00 | ニュースカイホテル |
| 宮崎 | 18日 | 水 | 17:00 | ホテルＪＡＬシティ宮崎 |
| 鹿児島 | 23日 | 月 | 12:00 | 鹿児島石油会館 |
| 沖縄 | 24日 | 火 | 17:00 | ロワジールホテル |
| 九州支部 | 11日 | 水 | 11:00 | 西鉄グランドホテル |

### 佐賀は小型オフサイト

日本エア・リキードは、佐賀市に「佐賀水素ステーション」を設置した。

同STは、外部から輸送する原料水素を使う「圧縮水素オフサイト」で、小型オフサイト式は全国でも初の試みという。需要に対応しやすいことで、より柔軟に全国各地での水素ST普及に貢献できる、としている。

同社は「エア・リキードグループは水素ガスに関する製造、貯蔵、運搬から使用まで幅広い知見と経験、全世界75ヵ所以上のFCV向け水素ST設置の実績を持っている。日本での水素モビリティー技術の発展と普及に積極的に取り組む」としている。

## FCV普及へ水素ST整備
### 福岡に九州初の商用都市ガス型

福岡市と佐賀市で「水素ステーション（ST）」が完成した。燃料電池車（FCV）の普及を目指す北部九州では、水素STの営業開始が相次いでいるが、税制面での対応が立ち遅れており、「適正な課税制度の確立」を望む声も強まっている。

福岡市東区に開設した水素ST

佐賀初の水素ST

福岡市東区に完成したのは西部ガスの水素ST で、3月24日から運用を開始した。

九州では初めての都市ガスを利用した商用「オンサイト方式」。天然ガスのインフラを活用してST内で水素を製造し、安定的に供給することができる。敷地面積1300平方メートル。水素製造装置、水素圧縮機、蓄圧器、ディスペンサーなどを備えている。建設費約7億円。

また、FCVに燃料を供給するほか、水素製造設備を持たない他のSTに対して水素を供給する機能も備えている。

### 大分
## 公正市場確立へ声を

大分石商・協（西謙二理事長）の理事会がこのほど大分市で開催され、新年度の事業計画案、予算案などを審議した。

西理事長（写真）は全石連などが検討している「駆け付け給油」などについて説明し、組合に結集することで、公正・公平な市場を確立しようと呼びかけた。

また、今年で30回を迎える「大分県石油感謝の日の集い」の開催、災害対応のための中核SSの情報ネットワーク構築・維持、SS過疎地対策の推進などの事業を盛り込んだ事業計画案などを提案した。

### 杉本石油（長崎県西海市・杉本秀伸社長）
## 登下校見守りありがとう
### 小学生から〝感謝状〟

子どもたちからは「感謝状」も

「元気で行ってらっしゃい」「行ってきま～す」――。長崎県西海市大島町、杉本石油（杉本秀伸社長）のSSでは毎朝・毎夕、スタッフが近くの大島東小学校の子どもたちの安全を見守っている。このほど手書きの感謝状も贈呈された。

杉本石油のスタッフは杉本社長の妻靖子さんを含めて女性3人。近くの大島東小学校に登校する子どもたちのほとんどがSSの前を通って登下校する。SS前の道路の交通はひんぱんで、給油のためにSSに出入する乗用車やトラックも多い。スタッフはそのたびに子どもたちを誘導して事故に巻き込まれないようにしている。

子どもたちの安全を祈るスタッフ

スタッフは子どもたちと顔なじみ。「気を付けてね」と声をかけると子どもたちも「ありがとう」と元気にあいさつする。子どもたちが書いた「いつも私たちの安全を見守っていただきありがとうございます。雨の日も寒い日も毎日そばにいてくださるだけで安心して学校に通うことができます」という感謝状を贈られた。

スタッフは「子どもたちの元気な笑顔で私たちも元気をもらえます」と話している。

HITACHI
Inspire the Next

小さくなって、使いやすさアップ。

マルチフェイスLOW typeは、高さをおさえたコンパクト仕様。
低い背丈でも広い給油範囲を確保し※、
ノズルも取り回しやすくなりました。
さらに、コンパクトなLOW typeなら、開放感ある広々としたSSを演出。
多彩な機能に高い操作性をプラスした人にやさしい一台です。
※当社従来モデル（LOW type）より10%アップ

MULTIface マルチフェイス

日立オートモティブシステムズメジャメント株式会社　〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 3-9-27　TEL.045-504-7580　http://www.hitachi-automotive-mm.com

BRIDGESTONE
あなたと、つぎの景色へ

"運転の疲れ"は、人の判断力を鈍らせます。
反応が遅くなり、急停止　後ろの車に気付かない
Playzは「非対称形状」でクルマを安定させます。
IN側　OUT側
だから運転の負担を軽減、疲れにくい。

NEW
プレイズ新提案。新しい安全価値へ。
Playz
http://tire.bridgestone.co.jp/playz/
セダンクーペ PX　ミニバン PX-RV　軽・コンパクト PX-C

株式会社ブリヂストン
[ブリヂストンお客様相談室] フリーダイヤル0120-39-2936　受付時間：月～金（祝日・当社指定休日は除く）9:00～17:00　月に一度は、空気圧の点検を!
www.bridgestone.co.jp

中国
中国支局（広島市南区的場町1-7-20 広島県石油会館2階）
082（264）6623

# 広島・青年部会 通常総会／西岡新体制スタート

## スローガン「働きがい、やりがいの創出」

広島県石油業青年部会（小河政彦部会長）はこのほど県石油会館で2016年度通常総会を開催し、新年度のスローガンを「働きがい、やりがいの創出！」とし、この方針に基づいて各種事業活動を展開していくことを決めた。また、役員改選では西岡直彦氏（ハゼヤマ常務広島支店長・JX系）を新部会長に選出した。

新スローガン、活動方針を決めた広島青年部会総会㊨充実した部会づくりに意欲をみせる西岡新部会長㊤

### 講演、乙4など積極展開

同部会の事業計画は、年2回実施している定例会では①小河政彦・オゴウ社長による「事業継承体験談」②齋藤裕子フリーアナウンサーによる「働きがいをつくる魔法の言葉（仮題）」を予定。また、部会員が講師となって実施してきた乙4資格試験対策事業に関しては、これまで広島市内に限定した勉強会だったことや、参加者も伸び悩み状況になってきていることなどから、新年度は「ぜんせきweb」で計画している乙4試験のためのeラーニングの活用も含めた取り組みを進めていく。

このほか、SS未来フォーラムへの積極的な参加を通じ、他県青年部会との交流や、情報交換会、会員拡大などについても、積極的な取り組みを行っていくこととした。

今総会で部会長を退くことになった小河政彦氏は「1期2年間、部会長を務めたが、この間、会員の方々には各種事業に積極的に取り組んでいただいたことに感謝している。当部会は会社社長、幹部そしてスタッフといろいろな人が会員となっており、将来的にはそれぞれが社内で重要な位置を占めていく。親組織の石油組合でも役員となり組合活動を推進していく可能性もある。同じ悩みを持つ人の集まり、様々なことを学べる集まりでもあるので、これからも活発な活動を期待している」とあいさつした。

### 副部会長に伊藤、杉谷氏

役員改選では西岡氏を部会長に、伊藤賢太郎（イトー石油社長・EMG系）、杉谷剛人（杉谷石油社長・JX系）両氏を副部会長に選出した。

新部会長に選出された西岡氏は「正直なところ、なにをどうやっていくかという不安もある。ただ、大野理事長が『やりがいのある仕事、働きがいのある職場づくり』を強調されていることもあって、当部会としてもこの方針に沿った形でスローガンも『働きがい、やりがいの創出』にした。今後は、会員の皆さんのご支援、ご協力をいただきながら各種活動を展開していきたい」と抱負を述べた。

さらに「部会加入の大きなメリットは若手の販売業者が、系列の枠を越えてお互いに遠慮することなくいろいろな話し合いができることである。そうした付き合いによってそれぞれの人の考え方とか、事業継承への取り組みなども聞ける。非常に勉強になることなので、今後もこうした環境をしっかりとしたものに仕上げていくとともに、会員の拡大も積極的に取り組んでいきたい」と、より充実した部会づくりに意欲をみせた。

## 7月に危険物保安講習

広島県危険物安全協会

広島県と広島県危険物安全協会連合会は7月4日の三次市を皮切りに26日の広島市まで県内各市で「平成28年度前期危険物取扱者保安講習」を行うことになった。

受講申請書等の配布場所は各消防局・本部（署）、同連合会、広島県危機管理監消防保安課で、受付期間は5月9日から20日までとなっており、申請書提出先は各消防局・本部（署）および同連合会。受講手数料は4700円。問い合わせは同連合会（電話＝082－261－8251）または県消防保安課（電話＝082－513－2790）まで。

前期危険物取扱者保安講習日程

| 月　日 | 場　所 | 種別・時間 |
|---|---|---|
| 7月4日 | 三 次 市 | 給油取扱所（午前）・その他（午後） |
| 7月6日 | 廿日市市 | 給油取扱所（午前）・その他（午後） |
| 7月7日 | 大 竹 市 | コンビナート（午前および午後） |
| 7月12日 | 東広島市 | 給油取扱所（午前）・その他（午後） |
| 7月13日 | 三 原 市 | 給油取扱所（午前）・その他（午後） |
| 7月14日 | 尾 道 市 | 給油取扱所（午前）・その他（午後） |
| 7月19日 | 福 山 市 | コンビナート（午前および午後） |
| 7月20日 | 福 山 市 | 給油取扱所（午前）・その他（午後） |
| 7月21日 | 福 山 市 | その他（午前）・給油取扱所（午後） |
| 7月22日 | 呉　　市 | 給油取扱所（午前）・その他（午後） |
| 7月25日 | 広 島 市 | 給油取扱所（午前）・その他（午後） |
| 7月26日 | 広 島 市 | その他（午前）・給油取扱所（午後） |

※午前は9時15分～・午後は1時15分～

## 中国運輸局・2月新車登録数

### 小型、前年割れ続く

中国運輸局がまとめた管内2月の新車登録・届出数は、普通貨物車666台（前年同月比8・1％増）、小型貨物車991台（同10・5％減）、普通乗用車7363台（同2・4％増）、小型乗用車7168台（同15・9％減）、軽貨物車2850台（同11・1％増）、軽乗用車1万2943台（同7・5％減）となっている。

また、2月末の保有台数は、普通貨物車13万9166台、小型貨物車19万3306台、普通乗用車101万6826台、小型乗用車133万1826台、軽貨物車72万9543台、軽乗用車181万6231台である。

## 石油室を廃止し資源・燃料課へ

中国経産局

中国経産局は1日付で組織変更を行い、石油製品販売業の振興を担当していた石油室を廃止し、資源・燃料課（電話＝082－224－5722）に統合した。

また、地方創生に関する支援体制を強化するため、企画担当業務を「企画調査課」が担い、新設する「調査室」で調査統計関連業務を担うなどの変更も行っている。

## 2月県別販売数量

### ガソリン需要若干持ち直し

石油連盟が先ごろまとめた2016年2月の都道府県別・石油製品販売実績によると、ガソリン販売量は前年同月比が1・5％増と2ヵ月連続前年を上回ったのに対し、前月比は0・3％減とほぼ横ばいとなり、販売量は415万キロリットルとなった。灯油は前年同月比が6・4％減、前月比は4・1％減とともに下回り、販売量は261万キロリットルにとどまった。軽油は前年同月比が0・2％増、前月比が11・1％増とともに上回り、販売量は270万キロリットルに達した。燃料油計は主力3油種が比較的小幅な動きで推移したことから前年同月比は2・1％減、前月比は0・2％減とこちらも小幅な動きにとどまり販売量は1574万キロリットルにとどまった。

【ガソリン販売実績】16年2月のガソリン販売量は前月比が0・3％減とほぼ横ばいにとどまる一方、前年同月比は1・5％増と2ヵ月連続で前年を上回り、販売量は415万キロリットルとなった。原油価格が前年同月比で半額程度まで下落したことを受け、ガソリン需要が若干持ち直した格好だ。都道府県別では4・8％減の福井、4・3％減の三重など27道県が前月を下回る一方、11・2％増の和歌山、7・8％増の徳島など20都府県が前月を上回り東西で明暗が分かれた。

前年比は12・1％増の福岡、7・9％増の秋田、高知など35都道府県が前年を上回ったのに対し、7・0％減の愛知、5・2％減の大阪など12府県が前年を下回ったのに対し、前年を上回ったのは14・1％増の佐賀、13・8％増の岡山、12・4％増の青森など9道県にとどまった。

札幌、仙台、新潟、東京、名古屋、大阪、広島、福岡の8都市平均気温は5・0度で、平年を0・9度、前年を0・2度上回り、暖冬傾向がはっきりと表れている。

【軽油販売実績】2月の軽油販売量は前年比も0・2％増とほぼ横ばいながらわずかに前年を上回り、販売量は270万キロリットルに達した。都道府県別のうち前月比は、22・7％増の島根、22・2％増の香川、21・6％増の広島など2桁の伸びとなった24都道県を含む47都道府県すべてが、前月を上回った。

これに対し前年比は、20・0％増の京都、12・1％増の石川、10・5％増の神奈川など23都道府県が前年を上回ったのに対し、前年を下回ったのは23・9％減の山口、11・2％減の山形、10・2％減の和歌山など24府県に及んだ。

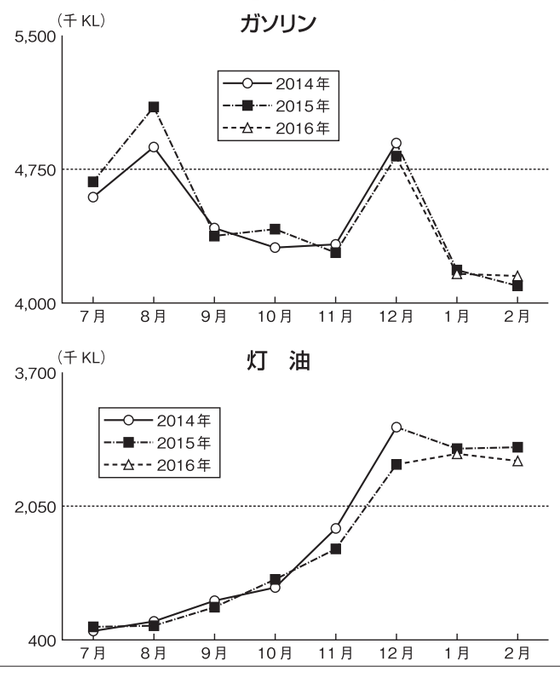
【灯油販売実績】シーズン終盤を迎えた2月の灯油販売量は、暖冬の影響もあり1月比で4・1％減と半年ぶりに前月を下回ったのに加え、前年比も6・4％減、前々年比も10・8％減と落ち込み、販売量は261万キロリットルにとどまった。

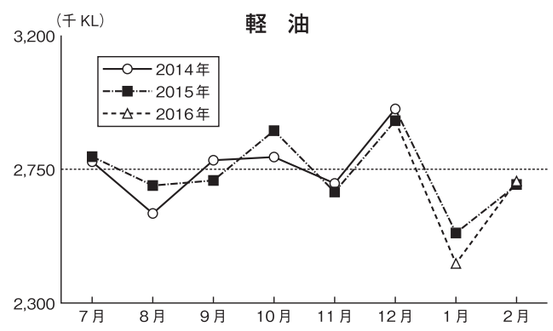
都道府県別のうち前月比は20・9％減の山口、17・4％減の鹿児島36都府県が前月を下回ったのに対し、前月を上回ったのは18・5％増の沖縄、12・7％増の富山など11道県にとどまった。

前年比は24・4％減の大阪、22・8％減の愛知など38都府県が前年を下回ったのに対し、前年を上回ったのは23・9％増の岡山、12・1％増の青森など11都道府県にとどまった。

2月の軽油販売量は前年比が11・1％増と前月を大きく上回るとともに、前年比も0・2％増とほぼ横ばいながらわずかに前年を上回り、販売量は270万キロリットルに達した。都道府県別のうち前月比は、22・7％増の島根、22・2％増の香川、21・6％増の広島など2桁の伸びとなった24都道県を含む47都道府県すべてが、前月を上回った。

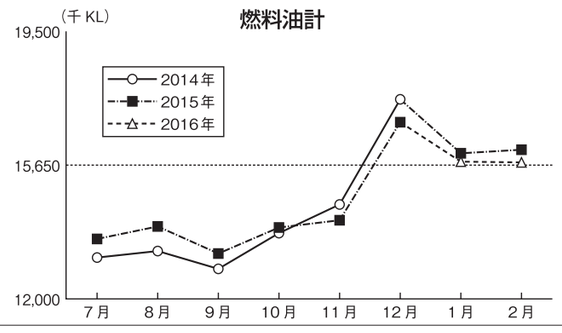
これに対し前年比は、20・0％増の京都、12・1％増の石川、10・5％増の神奈川など23都道府県が前年を上回ったのに対し、前年を下回ったのは23・9％減の山口、11・2％減の山形、10・2％減の和歌山など24府県に及んだ。










都道府県別・2月主要油種別販売実績　（単位：千キロリットル、％）

| | ガソリン | | 灯油 | | 軽油 | | 燃料油計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 16年2月 | 前年比 | 16年2月 | 前年比 | 16年2月 | 前年比 | 16年2月 | 前年比 |
| 北海道 | 175 | 5.1 | 459 | 3.6 | 175 | 6.5 | 1,367 | 5.8 |
| 青　森 | 46 | 3.8 | 102 | 12.4 | 36 | 3.3 | 225 | ▲1.5 |
| 岩　手 | 47 | 4.2 | 58 | ▲0.8 | 43 | 1.5 | 174 | 0.6 |
| 宮　城 | 96 | ▲2.1 | 86 | ▲16.0 | 84 | ▲3.5 | 312 | ▲17.8 |
| 福　島 | 74 | 2.8 | 59 | ▲12.6 | 55 | 0.1 | 259 | ▲25.9 |
| 秋　田 | 36 | 7.9 | 66 | 7.3 | 20 | ▲3.1 | 150 | 9.2 |
| 山　形 | 38 | 3.8 | 56 | ▲4.9 | 23 | ▲11.2 | 134 | ▲3.6 |
| 新　潟 | 90 | 2.2 | 98 | ▲5.5 | 52 | ▲9.8 | 269 | ▲4.7 |
| 長　野 | 79 | 0.7 | 89 | ▲7.9 | 40 | ▲4.5 | 227 | ▲4.3 |
| 群　馬 | 70 | ▲1.0 | 41 | ▲4.7 | 38 | 1.2 | 172 | ▲1.8 |
| 栃　木 | 77 | 1.6 | 46 | ▲6.0 | 52 | ▲5.7 | 202 | ▲3.7 |
| 茨　城 | 122 | 2.2 | 58 | ▲10.4 | 83 | 3.1 | 717 | 5.6 |
| 千　葉 | 182 | 4.1 | 62 | ▲17.4 | 104 | 1.7 | 1,407 | ▲8.9 |
| 埼　玉 | 190 | 3.5 | 68 | ▲5.1 | 106 | 3.3 | 378 | 1.3 |
| 東　京 | 556 | 3.7 | 283 | ▲11.6 | 322 | 4.9 | 1,775 | 0.7 |
| 神奈川 | 176 | ▲4.1 | 82 | ▲17.3 | 121 | 10.5 | 833 | ▲6.5 |
| 静　岡 | 129 | 1.6 | 45 | ▲10.0 | 88 | 2.2 | 332 | ▲1.4 |
| 山　梨 | 28 | ▲0.5 | 21 | ▲8.5 | 16 | 0.2 | 73 | ▲4.3 |
| 愛　知 | 268 | ▲7.0 | 93 | ▲22.8 | 154 | ▲8.0 | 670 | ▲11.9 |
| 三　重 | 102 | 3.3 | 45 | ▲5.6 | 72 | ▲2.2 | 474 | ▲2.8 |
| 岐　阜 | 71 | 1.9 | 30 | ▲9.7 | 35 | 0.3 | 153 | ▲1.8 |
| 富　山 | 36 | 2.7 | 32 | ▲3.7 | 23 | ▲4.7 | 139 | ▲6.8 |
| 石　川 | 47 | 3.1 | 37 | ▲2.1 | 29 | 12.1 | 141 | 4.2 |
| 福　井 | 28 | 2.7 | 24 | ▲0.3 | 18 | ▲2.6 | 88 | ▲14.7 |
| 滋　賀 | 48 | 2.0 | 22 | ▲9.0 | 27 | ▲0.2 | 102 | ▲1.9 |
| 京　都 | 55 | 3.4 | 18 | ▲11.4 | 35 | 20.0 | 116 | 4.1 |
| 大　阪 | 209 | ▲5.2 | 65 | ▲24.4 | 148 | ▲6.7 | 520 | ▲10.5 |
| 奈　良 | 35 | 3.5 | 10 | ▲10.5 | 13 | ▲0.1 | 61 | ▲1.2 |
| 和歌山 | 28 | 1.6 | 11 | ▲7.5 | 14 | ▲10.2 | 65 | ▲1.8 |
| 兵　庫 | 136 | 0.5 | 59 | ▲12.0 | 96 | 5.0 | 350 | ▲1.7 |
| 岡　山 | 75 | ▲1.0 | 52 | 13.8 | 49 | 6.4 | 685 | ▲1.0 |
| 広　島 | 91 | ▲0.5 | 38 | ▲12.2 | 74 | 4.4 | 289 | 10.4 |
| 鳥　取 | 22 | ▲5.0 | 13 | ▲11.2 | 13 | 1.7 | 68 | 4.1 |
| 島　根 | 22 | 4.8 | 12 | ▲6.2 | 13 | ▲4.8 | 61 | ▲2.2 |
| 山　口 | 55 | 3.0 | 38 | ▲7.7 | 38 | ▲23.9 | 572 | 34.5 |
| 徳　島 | 25 | 2.7 | 10 | ▲5.5 | 14 | ▲4.8 | 93 | 15.6 |
| 高　知 | 20 | 7.9 | 8 | 5.6 | 12 | ▲7.2 | 59 | ▲1.5 |
| 愛　媛 | 47 | ▲0.3 | 24 | 9.7 | 30 | ▲0.8 | 354 | 1.1 |
| 香　川 | 50 | 1.3 | 22 | ▲2.9 | 48 | ▲3.4 | 141 | ▲13.2 |
| 福　岡 | 164 | 12.1 | 64 | 1.5 | 105 | ▲3.3 | 456 | ▲0.9 |
| 大　分 | 44 | 3.4 | 18 | ▲4.0 | 25 | ▲1.9 | 288 | 1.3 |
| 佐　賀 | 26 | 2.2 | 8 | 14.1 | 20 | 0.8 | 76 | 6.5 |
| 長　崎 | 39 | ▲4.9 | 16 | ▲8.4 | 24 | 8.2 | 128 | ▲16.1 |
| 熊　本 | 48 | 6.6 | 21 | ▲0.4 | 31 | 0.0 | 131 | ▲0.0 |
| 宮　崎 | 38 | ▲0.8 | 14 | ▲9.9 | 24 | ▲6.4 | 113 | ▲8.1 |
| 鹿児島 | 66 | 6.9 | 21 | ▲7.0 | 39 | ▲0.6 | 186 | ▲3.4 |
| 沖　縄 | 44 | 4.7 | 7 | 0.2 | 20 | 6.1 | 155 | ▲3.8 |
| 全　国 | 4,149 | 1.5 | 2,612 | ▲6.4 | 2,702 | 0.2 | 15,739 | ▲2.1 |

TMC TOMINAGA MFG CO
“燃料供給システム”の明日に取組む　http://www.kyoto-tmc.co.jp

「優しさ」を極めたモデルチェンジ。

世界でも稀にみる斬新なデザインで
SSの一躍を担ってきた“エースライン”。
表示素子をブラックとした大型LCD表示器を採用。
バックライトと文字のコントラストが高まり
今まで以上の視認性の向上を実現させた。

シンプルでスタイリッシュなデザインの“エースマルチ”
スタンダードモデル機として豊富なラインナップを取り揃え
幅広いニーズに応える。
従来比、約3.5倍の表示器は給油客の安心・安全を守る。

魅了するフォルム
Aceline
エースライン

安心のスタンダード
AceMulti
エースマルチ

株式会社富永製作所　〒604-8493 京都市中京区西ノ京南両町88　営業本部 ☎(075)801-8139代表 FAX(075)801-0717
仙台営業所 ☎(022)283-0511 FAX(022)283-8355　東京支店 ☎(03)3484-5051 FAX(03)3484-3944
名古屋支店 ☎(052)414-1181 FAX(052)414-1180　関西支店京都 ☎(075)801-0711 FAX(075)801-2083
関西支店大阪 ☎(06)6443-2751 FAX(06)6443-2488　広島支店 ☎(082)283-2428 FAX(082)283-2606
高松支店 ☎(087)843-7130 FAX(087)843-9139　福岡支店 ☎(092)651-3168 FAX(092)651-3118
事業所・代理店／全国主要39都市